

# 欧州化学物質法規制ガイドブック

～REACH/CLP/関連欧州法規制～

★購入者特典付

発刊 2012年11月15日・体裁 B5判(ソフトカバー)278頁・定価 ¥36,300(税込(消費税10%))

- ◎ 膨大な資料から日本企業のためのREACH関連法規対応をまとめ、解説！
- ◎ 複雑に絡み合うREACH関連法規、グレーゾーンの問題が徐々に解決。最新動向は？
- ◎ 最新動向を統括・必要な情報源を網羅してwebアドレスを明示。今後の法監視にも！

## ★購入者特典★

※特典内容の詳細はHPを御確認ください

- **購入者専用ウェブサイト**で最新の改正情報や仮和訳をお届け中！  
日本初の情報や、通常有料でないと手に入らない情報も多数！

### ★更新される最新の重要情報（一例）

- 2014年 2月12日 ・第5回認可優先勧告物質最終草案の公表
  - 2014年 1月14日 ・殺生物性製品規則に関わるFAQの公表
  - 2013年12月26日 ・第4回追加認可物質草案のWTO/TBT通報の公表
  - 2013年12月10日 ・改定SDS編纂のガイダンス(Version 2.0)の公表
  - 2013年12月05日 ・評価の決定に対するフォローアップのための新しいFact Sheetの公表
  - 2013年11月29日 ・REACHとPOPs条約との関わりの検討状況（欧州委員会ワークショップ報告より）
  - 2013年11月28日 ・CoRAPの最初の4物質の評価結果の公表
  - 2013年11月25日 ・デンマークのナノ製品登録通達の改正草案の公表
- (.....)

- **充実の参考文献リンク集データも配布！クリック一つで原文へ！**

詳細な内容は裏面及びHPを御確認ください

本書使用の注意： 本書において引用されるガイダンス、報告書、マニュアル、websiteの記載、Q&A及びFAQIにおける記載の中には2012年9月現在、欧州化学品庁（European Chemicals Agency: ECHA）が公表している内容、及び欧州化学工業連盟（Cefic）が公表している内容から部分引用して和訳したものがああります。この日本語翻訳についての責任は著者にあり、欧州化学品庁及び欧州化学工業連盟に責任はなく、英文原本の公式な日本語翻訳ではありません。翻訳は原文の内容を正確に反映するように努力いたしましたが疑義がある場合、正確な解釈については、原文でご確認ください。本書の内容は、法律条文、ECHAのガイダンスの内容に基づいていますが、ご利用者が本情報を使用して行う一切の行為について、著者並びに発行元は、何ら責任を負うものではありませんこととお断りしておきます。また、いかなる場合においても、著者並びに発行元はご利用者が本情報を使用して被った損害、損失について、何ら責任を負いません。

### 執筆者

山本 毅

ご略歴 昭和 52年 東京大学薬学部 卒業 小西六写真工業株式会社(現コニカミノルタ)入社  
平成 4年 同社環境安全推進室にて化学物質管理業務として、  
GLP試験施設(化審法・安衛法)における試験責任者及びQAとして安全性試験評価、  
新規化学物質届出(国内、海外)業務、MSDS作成、化学物質規制及びリスクアセスメントを担当  
平成 15年 コニカ、ミノルタ統合後の分社化に伴い、コニカミノルタビジネスエキスパート株式会社にて、  
国内・海外の化学物質規制、環境法規制を担当  
ご専門 化学品規制(国内、海外の化学物質規制、製品規制等)、特に化審法、TSCA、REACH、CLP規則及びMSDS関連など  
今までの主な活動：アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP) AIS標準化委員会委員  
日本機械輸出組合 基準認証委員会委員 JAMP 国際化企画実行委員会委員 等 ご歴任  
その他学会誌等投稿・発表など多数

### ★書籍申込書

FAX : 03-5740-8766、または、→<http://www.johokiko.co.jp> にて

書籍名	【BC121102】		冊数
欧州化学物質法規制ガイドブック ～REACH/CLP/関連欧州法規制～ 書籍			
住所〒	会社名		
所属部課・役職等	TEL	FAX	
E-MAIL	申込者名	上司役職・氏名	
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送			

- (書籍申し込み要領)
- ◎右記記入の上、FAXでお申込を承ります。  
FAX:03-5740-8766まで！
  - ◎お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。
  - ◎未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。  
発刊時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)
  - ◎お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
  - ◎振り込み手数料はご負担ください。
  - ★<http://www.johokiko.co.jp/>  
の申込みフォームからも承ります！

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。  
今後のサービス向上のため「個人情報の取扱いに関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先policy@johokiko.co.jp

第1章 拡張安全性データシート (ex-SDS) の対応について

1. 欧州の安全性データシート (SDS) 規定の変遷
2. SDSの役割の拡大とその影響
3. REACHにおけるSDS規定とその運用  
-改正附属書 とSDS編纂ガイダンスより
  - 3.1 今後のSDS改定の対応について  
書式の適用のタイムスケジュール
  - 3.2 SDS書式における新しい要求事項
  - 3.3 第31条9項に基づく更新の対応
  - 3.4 SDS提供形態の問題
  - 3.5 SDSに求められる関連情報の情報源
4. 暴露シナリオと拡張SDSの関係
5. 暴露シナリオ関連のITツール及びガイダンス類
  - 5.1 CEFIC (欧州化学工業会) の  
REACH Librariesにおけるガイダンス
  - 5.2 暴露シナリオ伝達共通フォーマット  
(ESComXML Standard)
  - 5.3 欧州標準文言集 (EuroPhrase)
  - 5.4 使用記述子マップ図 (Use Descriptor Mapping)
  - 5.5 Chesarについて
6. 拡張SDSに関わるサプライチェーンにおける  
情報伝達の問題
7. 混合物の場合の対応
  - 7.1 混合物の暴露シナリオへの対応  
DPD+手法、ES-Modifier

第2章 分類・表示及び包装への対応

1. CLP規則の概要と今後
  - 1.1 最近の改訂状況と今後の予定
2. 調和化された分類の制定プロセスとSVHCの今後の予測
3. 分類・表示及び包装関連ガイダンスの状況
4. 分類・表示インベントリ届出について
  - 4.1 分類・表示インベントリ届出手順とツール
  - 4.2 CLP規則分類・表示インベントリの公開

第3章 REACH規則及びCLP規則における唯一の代理人  
(OR : Only Representative)の役割

1. REACH規則における登録、届出、認可申請代行及び  
SDSにおける責任
2. CLP規則における分類・表示インベントリ届出の  
代行について

第4章 認可について

1. 認可制定のプロセス
2. 認可を受ける優先勧告物質の現状と今後
3. 認可候補物質 (Candidate List) の現状と今後
4. 今後のSVHCの予測 について (有害性分類との関係)
  - 4.1 ビスフェノール-A、TBBP-A、PFOA等

第5章 制限について

1. REACHにおける制限
2. 制限制定の2つのプロセス (第69~73条による  
標準プロセスと第68条(2)によるもの)
3. 制限と認可の関係
4. 制限の内容と付属書 の改定状況
5. 欧州POPs規則とREACH制限との関係

第6章 REACHにおけるアークティクル中の  
化学物質の規制について

1. アークティクル中の化学物質への  
要求事項ガイダンス (第2版) の概要
2. ガイダンスにおけるアークティクル判定フロー
3. 第7条(2)のアークティクル中SVHCの届出と  
そのツールについて
4. 第33条に従った義務について
5. ガイダンスにおける0.1%閾値解釈の議論の今後
6. 業界独自のガイダンスの状況

第7章 評価について

1. 評価のプロセスとCoRAP  
(Community rolling action plan)
2. 評価結果の影響

第8章 新たなリスクへの対応

1. REACHにおけるナノマテリアルの扱いについて
2. REACHにおける  
ナノマテリアル関連ガイダンスの改定状況
3. その他 欧州におけるナノマテリアル規制の動向
  - 3.1 欧州委員会のナノマテリアル定義とその問題点
  - 3.2 欧州におけるナノマテリアル報告・登録制度の動向
4. 欧州における内分泌かく乱物質への取組とREACH
5. 欧州における化学物質の合併効果  
(combination effect of chemicals) への取組状況

第9章 2013年登録に向けて

1. 関連ガイダンスの改定状況
  - 1.1 登録に関するガイダンス改定状況について
  - 1.2 ポリマー及びモノマーの登録について
  - 1.3 当局と業界の中間体解釈の論争と関連ガイダンス
  - 1.4 CLP規則関連のガイダンス改定状況
  - 1.5 REACH規則に基づく情報要求及び  
化学品安全性アセスメント関連
  - 1.6 FAQ及びQ&A関連その他

REACH、CLP及びPOPs規則改正履歴  
略語集  
引用文献及び情報源リスト

本書使用の注意 : 本書において引用されるガイダンス、報告書、マニュアル、websiteの記載、Q&A及びFAQにおける記載の中には2012年9月現在、欧州化学品庁 (European Chemicals Agency: ECHA) が公表している内容、及び欧州化学工業連盟 (Cefic) が公表している内容から部分引用して和訳したものがああります。この日本語翻訳についての責任は著者にあり、欧州化学品庁及び欧州化学工業連盟に責任はなく、英文原本の公式な日本語翻訳ではありません。翻訳は原文の内容を正確に反映するように努力いたしました。が、疑義がある場合、正確な解釈については、原文でご確認ください。本書の内容は、法律条文、ECHAのガイダンスの内容に基づいてありますが、ご利用者が本情報を使用して行う一切の行為について、著者並びに発行元は、何ら責任を負うものではありませんことをお断りしておきます。また、いかなる場合においても、著者並びに発行元はご利用者が本情報を使用して被った損害、損失について、何ら責任を負いません。